

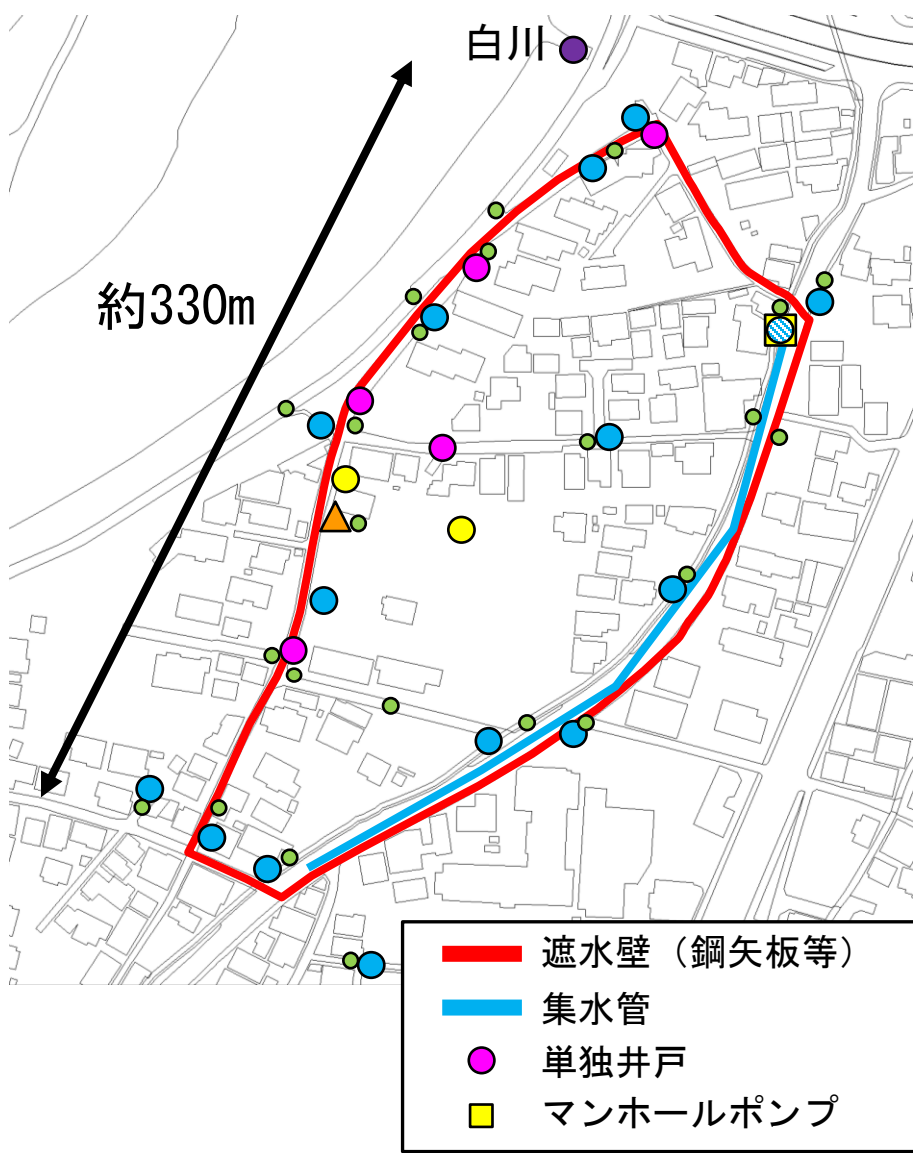
第17回熊本市液状化対策技術検討委員会 説明資料 【近見地区】

【議題 2 各地区の経過報告について】
(議題 2-3 ①地区の地下水位低下状況について)

熊本市

令和5年3月14日

【①地区の地下水低下スケジュール】

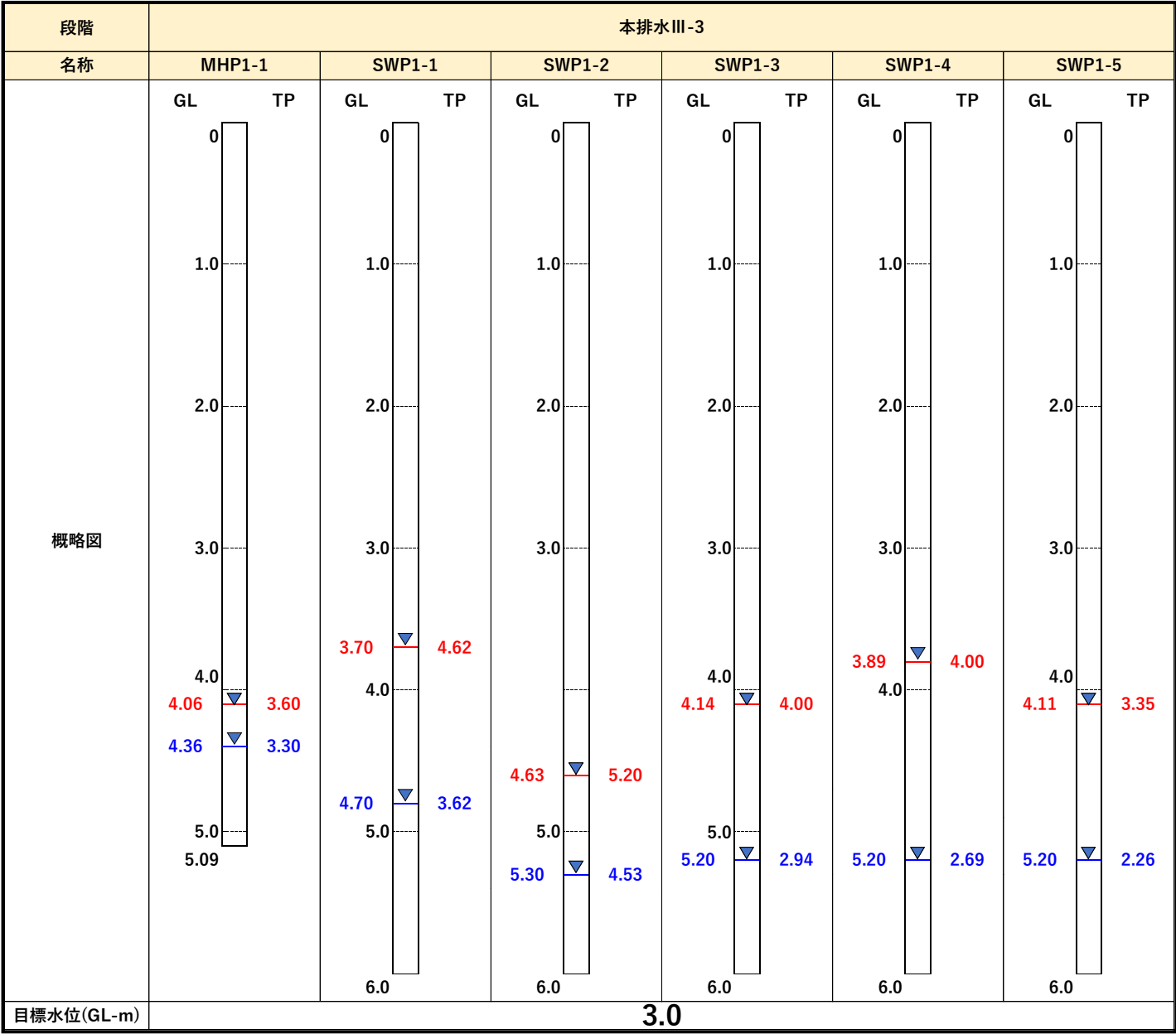


- ・ 令和4年(2022年)8月23日から地下水位低下開始。
- ・ 現在、本排水Ⅲの30日間の影響確認期間中。
- ・ 4月上旬に地下水位低下期間終了予定。

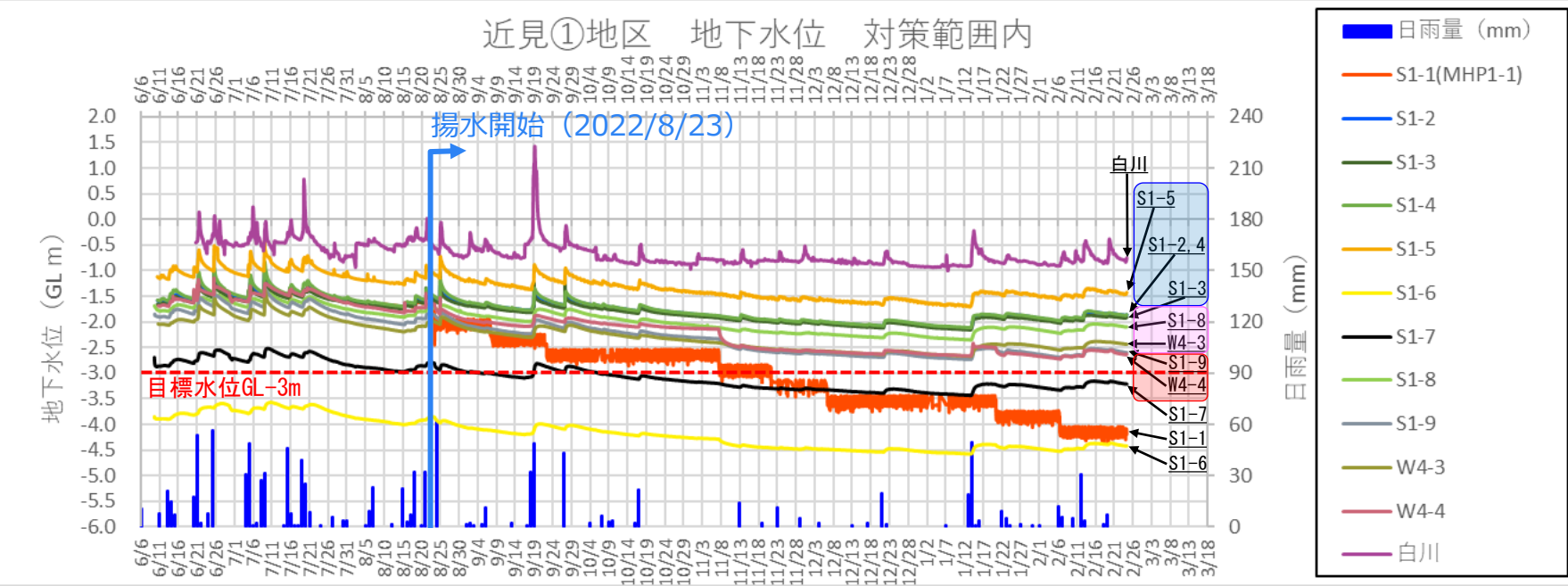
①地区の観測箇所数

観測機器		観測箇所数
自記水位計(新規孔)	○	14基
(MHP内)	⦿	1基
〃 (既設孔)	● ●	3基
層別沈下計	▲	1基
沈下鉾	●	23点
排水ポンプ(MHP)	■	1箇所
排水ポンプ(単独井戸)	●	5箇所

【①地区の現在の水位設定】

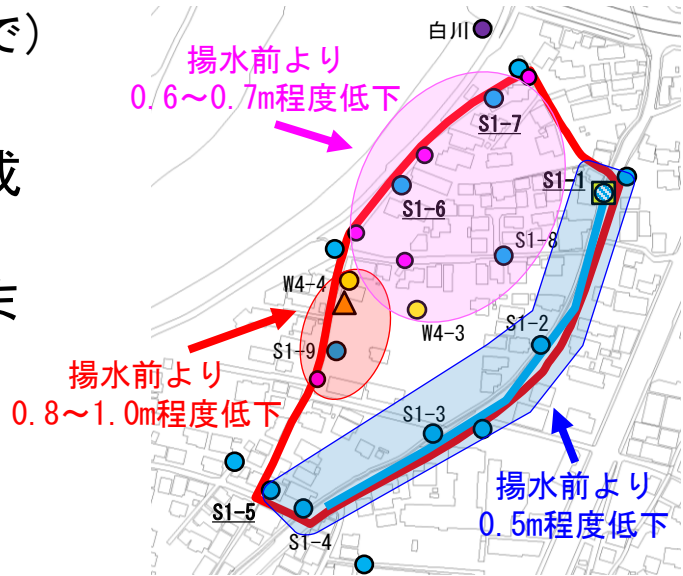


【①地区の地下水位モニタリング(GL)】

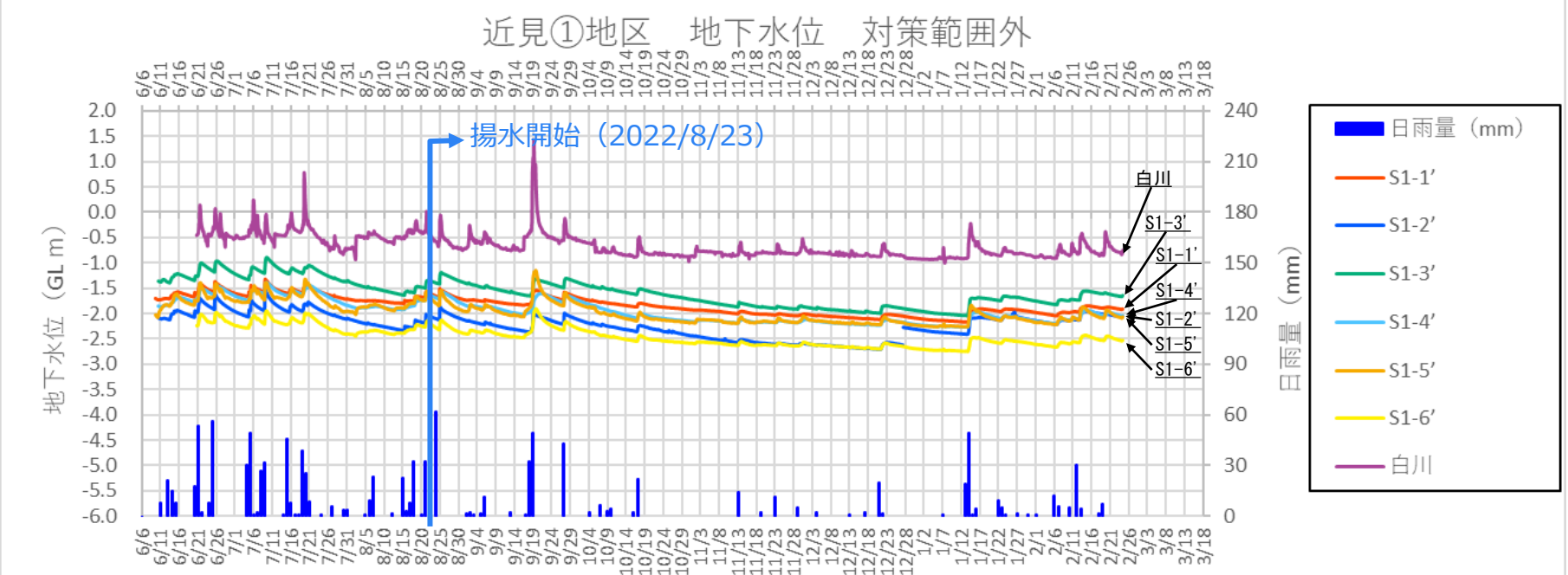


地下水位変動図 (矢板内側, GL表記, R5. 2. 24まで)

- ・ 現時点 (R5. 2. 24時点) で目標水位 (GL-3m) を達成しているのは、S1-1 (MHP内)、S1-6、S1-7。
- ・ 地下水位が最も浅い箇所はS1-5で、目標水位まで1.5m程度の地下水位低下が必要。

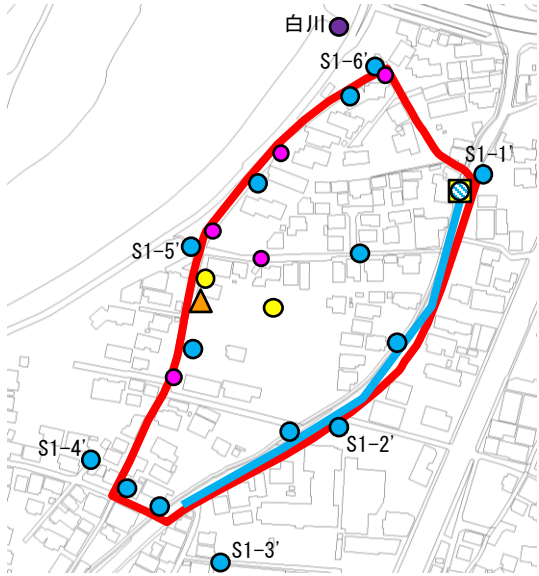


【①地区の地下水位モニタリング（GL）】

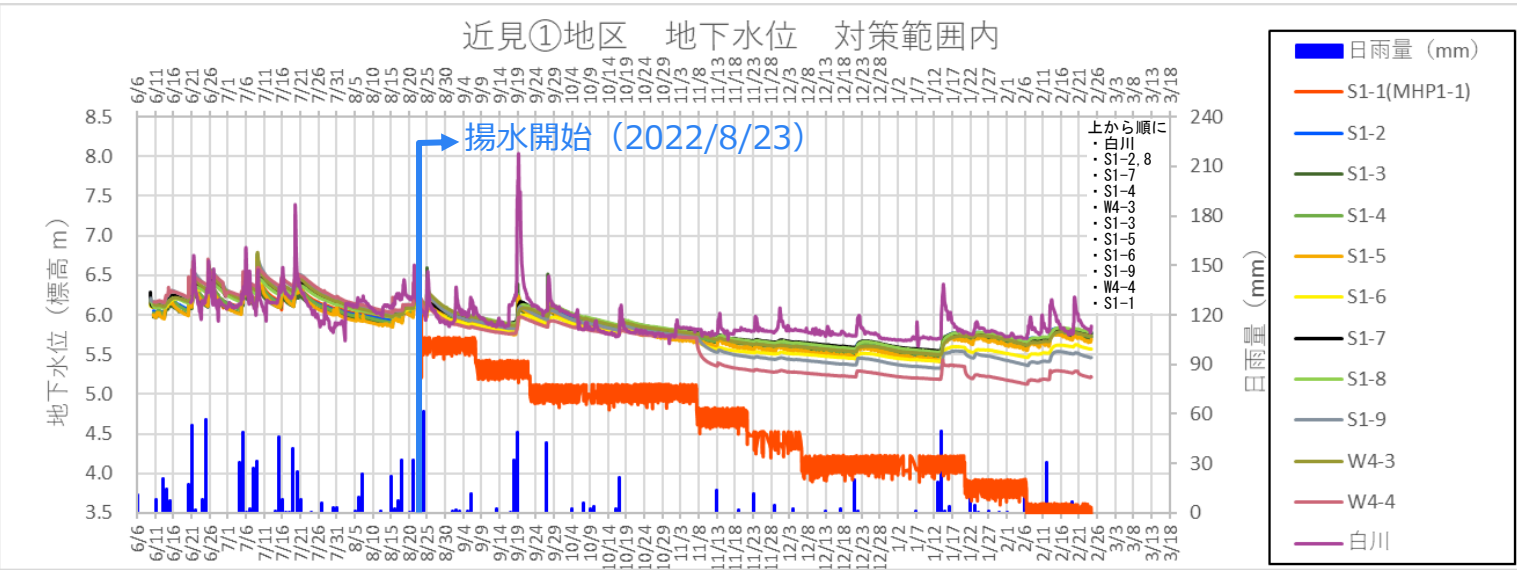


地下水位変動図（矢板外側, GL表記, R5. 2. 24まで）

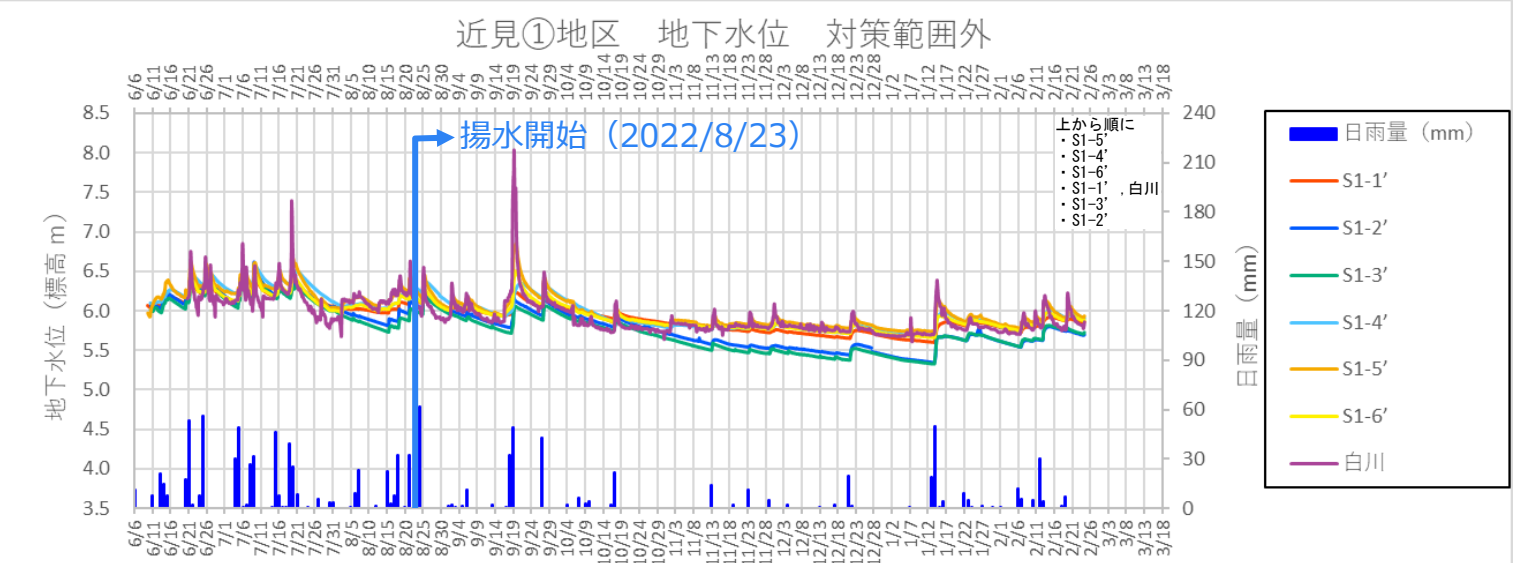
- ・ 地区外の地下水位は、白川の水位変動と同程度の変動が見られる。



【①地区の地下水位モニタリング(標高)】

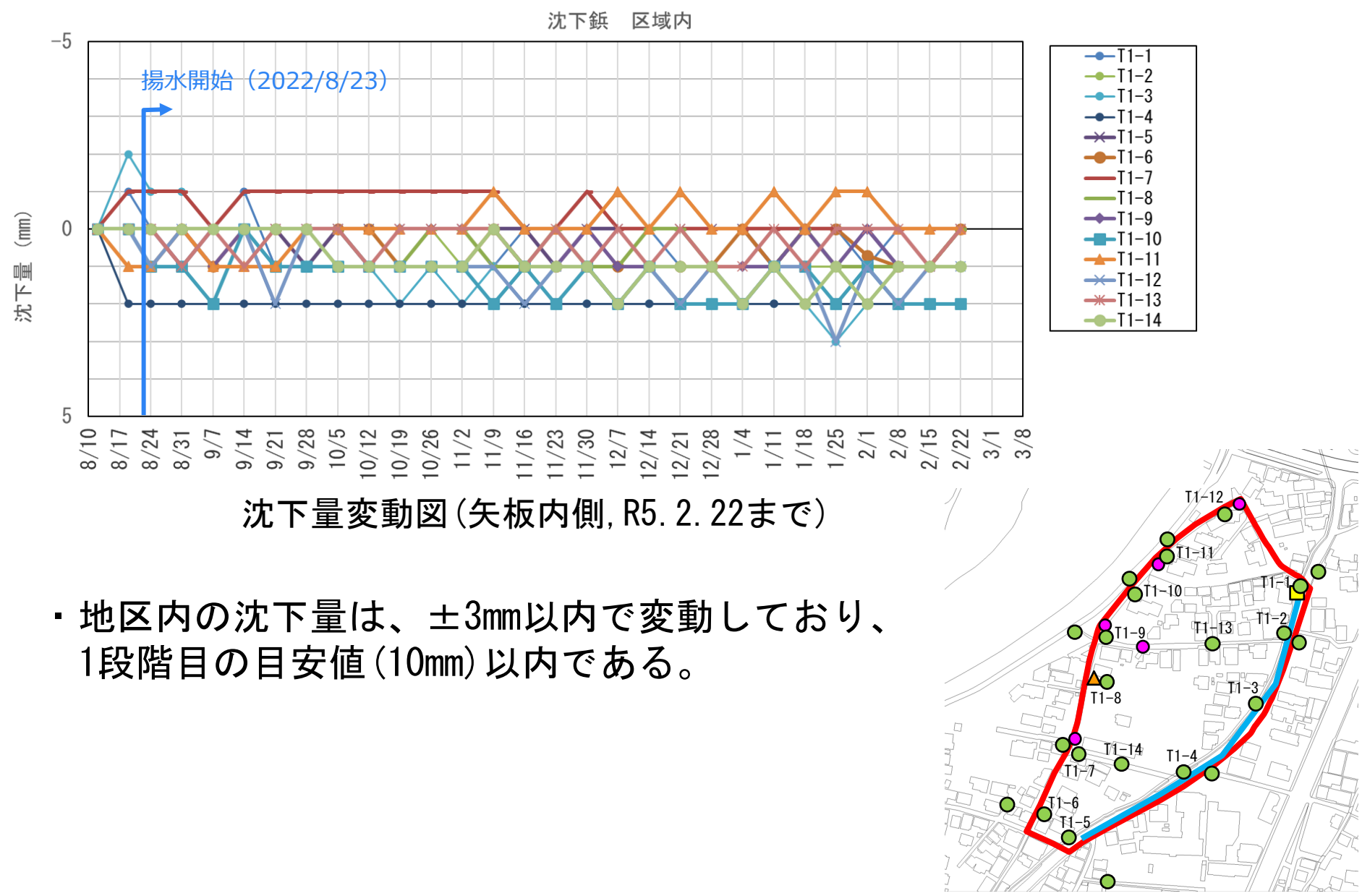


地下水位変動図(矢板内側, 標高表記, R5. 2. 24まで)

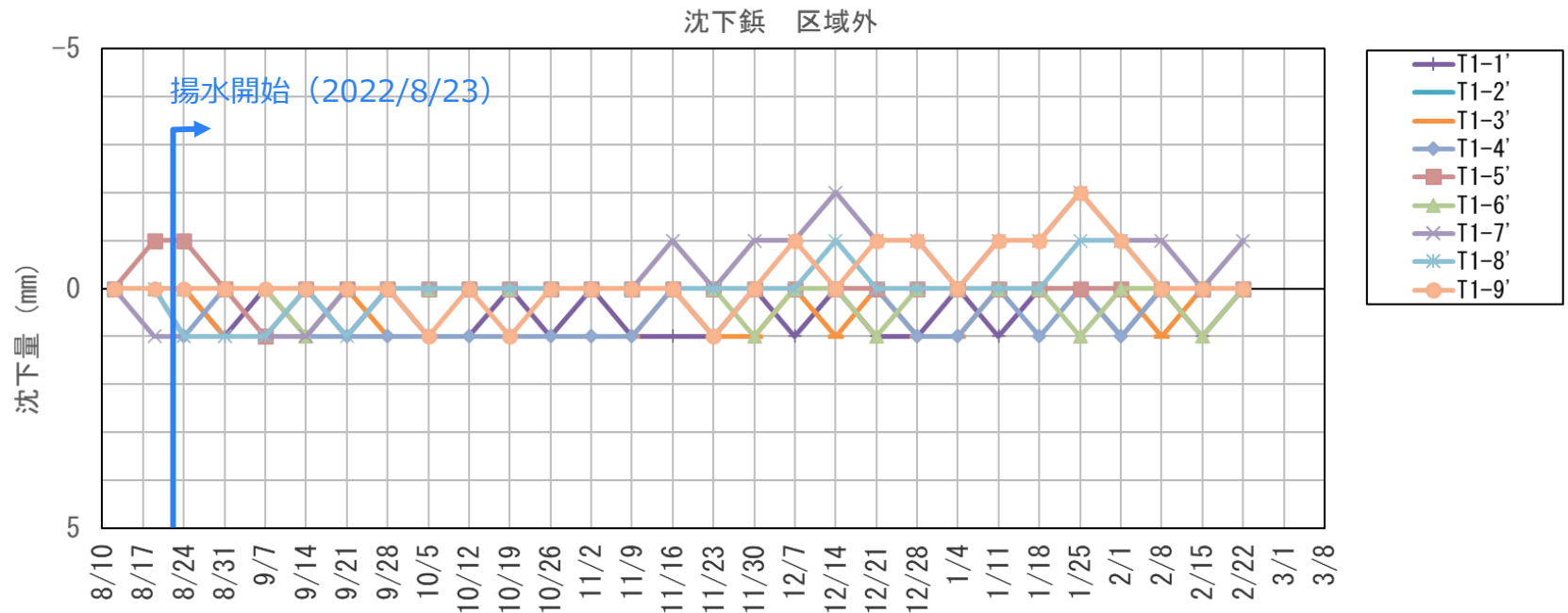


地下水位変動図(矢板外側, 標高表記, R5. 2. 24まで)

【①地区の沈下モニタリング(沈下鉈)】

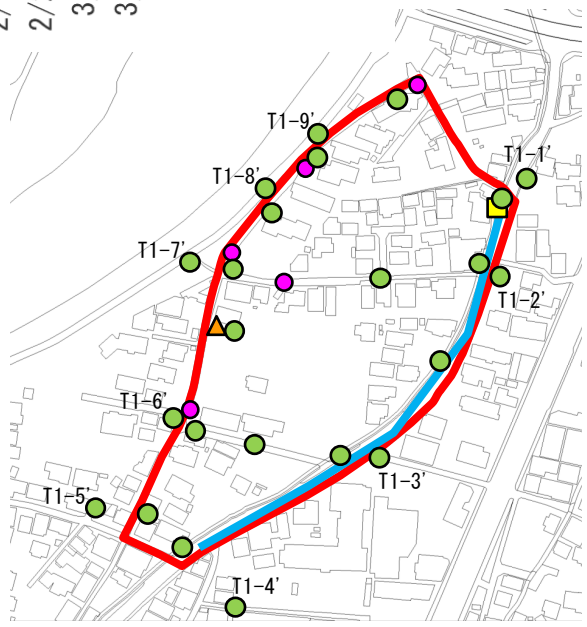


【①地区の沈下モニタリング(沈下鉈)】

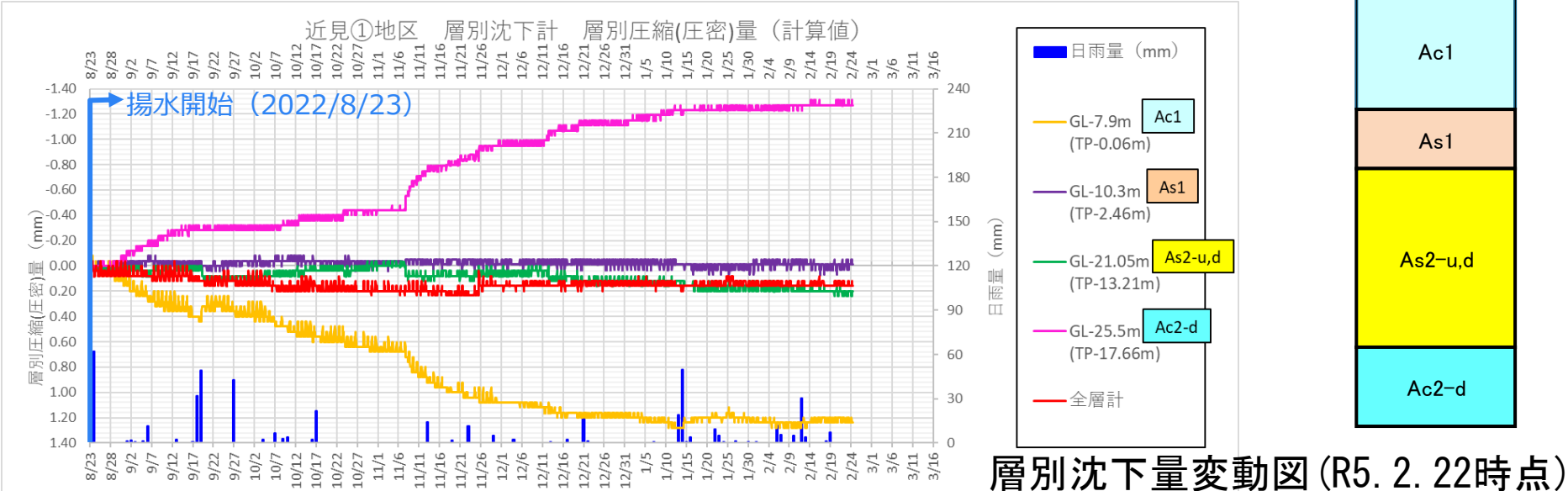


沈下量変動図(矢板外側, R5. 2. 22まで)

- ・ 地区外の沈下量は、±2mm以内で変動している。

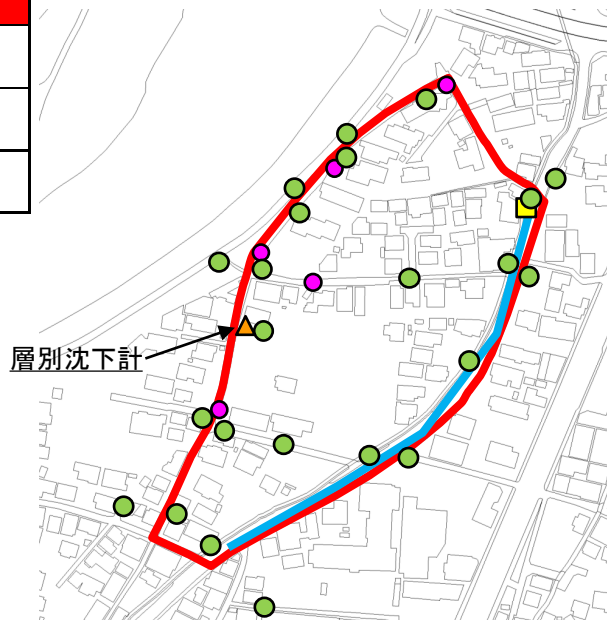


【①地区の沈下モニタリング(層別沈下計)】

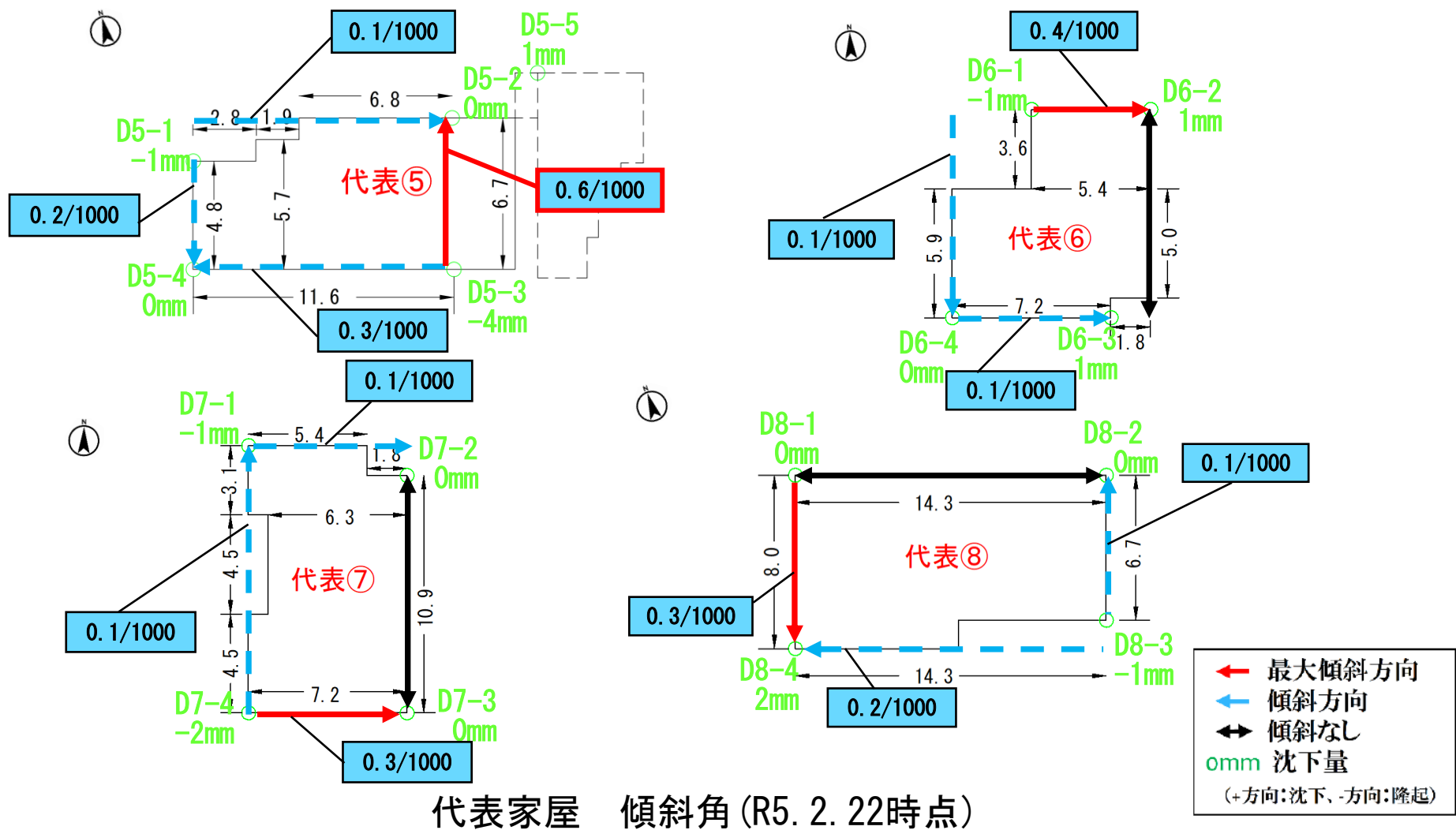


地層	GL-1.0m~GL-7.9m	GL-7.9m~GL-10.3m	GL-10.3m~GL-21.05m	GL-21.05m~GL-25.5m	全層合計
	Ac1	As1	As2-u,d	Ac2- d	
累積圧縮(圧密)量(観測値)(mm) (図6参照)	1.24	1.23	1.43	0.16	—
層別圧縮(圧密)量(計算値)(mm) (図7参照)	1.24	-0.01	0.20	-1.27	—
層別圧縮(圧密)量(mm) (※参照)	1.24	0.00	0.19	0.00	1.43

- ・ 揚水開始以降の圧縮(圧密)量は、全層の合計で1.43mmである。
- ・ 層別で最も圧縮(圧密)しているのは、Ac1層の1.24mm である。



【 ①地区の沈下モニタリング(代表家屋)】



・ 現時点 (R5. 2. 22) での最大傾斜角は、代表家屋⑤の0. 6/1000radであり、1 段階目の基準値である1/1000rad以内である。